

各学科の実習の様子

いずみ

いずみ 第27号 (冬号)
令和6年2月3日発行
千葉県立保健医療大学
後援会
〒261-0014
千葉県美浜区若葉2-10-1

題字揮毫
山浦 品 初代学長

看護学科

看護技術論Ⅰ
(初めてのベッドメイキング)

1年生、および3年生の演習場面です。1年生は、初めてのベッドメイキングで、シーツの扱い方に四苦八苦しながらも、熱心に取り組んでいます。3年生は、急性期看護学実習で必要となる援助を、学生が交互に患者役になって実演します。皆さん、実習前なので緊張感があります。



臨床看護学方法論Ⅱ
(実習直前の演習)



臨床看護学方法論Ⅱ
(交互に患者役も実演)

歯科衛生学科

歯科衛生学科では臨床実習の一つとして、個々の対象者に歯科保健指導を行います。歯科ユニット上で学生相互に実際行う手順などをシミュレーションし、次いで住民の方々に歯科保健指導を行います。

相互実習で
シミュレーション



地域の方をお招きしての
歯科保健指導

栄養学科

人体の構造や機能を理解するため、顕微鏡でラットの細胞・組織標本を観察し、特徴を理解します。また、食品の加工や保存の実習を通じて、加工食品の製造メカニズムや機能性を理解します。

解剖学実験 (栄養学科1年)



食品加工学実習 (栄養学科2年)

＊ リハビリテーション学科 理学療法学専攻

理学療法学専攻では、実技を伴う演習によって講義で学んだ理論の理解を一層深めるとともに、確かな技術を身につけることで理学療法士への階段を着実に登っています。



物理療法学演習
(極超短波療法)

理学療法学特論Ⅰ
(テーピング風景)



リハビリテーション学科 作業療法学専攻

レクリエーションや作業活動を活用した基礎演習に加え、人体の構造から生活動作や社会参加に関わる評価・支援方について熱心に学んでいます。モデル対象者様を招いた実技試験にも緊張感をもち、一生懸命取り組んでいます。



作業運動学実習



義肢装具学



いずみ祭での学生会と芸人さんたち



企画会議の様子



親睦会の様子

学生会活動費の使途報告

- ①「新入生歓迎会」での、プレゼント用お菓子の購入。プレゼントを用意することで、放課後の開催にもかかわらず、多くの新入生が参加してくれました。
- ②「サークル活動費」として、各団体への予算分配。各団体それぞれでス

学生会の主な活動はイベントの企画運営です。イベントを通して、学科と学科、サークルとサークルを繋ぎ、学生生活をより充実させることを目指しています。保医大は人数が少なく、皆実習などが忙しいですが、学生全員でイベントを作り上げ、成功した時の心踊る感覚、喜びを皆で共有するとともに、この大学の学生であることに誇りを持てるようになってほしいです。

今後も、学生生活の充実のために大切に助成金を活用させていただきます。引き続き、ご支援・ご協力を賜ることができれば幸いです。

- ③「いずみ祭」の開催費用。今年度、大学初の試みとして「お笑い芸人の招致」と「謎解きスタンブラリー」を行い、多くの方に来学いただきました。
- ④「仁戸名物品管理費」として学生から要望があった電気ポットを購入。仁戸名キャンパスでの学生生活が今までもよりやすくなりました。

ポーツ等を通じた他学科や他学年との交流、自己研鑽に取り組みました。

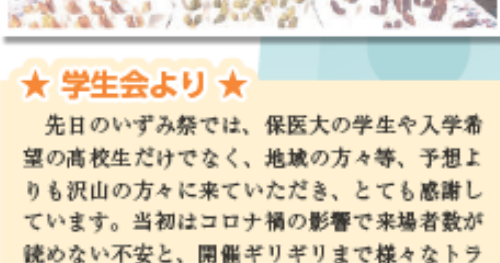
- ⑤「スポーツ大会」で競技に使用する物品や景品の購入。障害物リレーやドッヂボールなどのスポーツを通じて他学科や他学年との親睦を深めました。

学生会活動の紹介

学生の皆さんのよりよい生活を支えるための後援会活動において、学生会への支援をしています。そこで、学生会の皆さんに、学生会の活動について紹介させていただきます。

いずみ祭

今年度は10月8日(日)、9日(月・祝)の2日間にわたり、コロナ後2度目となる、外部の方をお招きしての、いずみ祭が開催されました。そこの学生の皆さんの、そして後援会の様子をお伝えいたします。



★ 学生会より ★

先日のいずみ祭では、保医大の学生や入学希望の高校生だけでなく、地域の方々等、予想よりも沢山の方々に来ていただき、とても感謝しています。当初はコロナ禍の影響で来場者数が続けない不安と、開催ギリギリまで様々なトラブルがありましたが、なんとか大きな問題もなく終わらせることができました。準備期間中や終わった後にいろいろな先生方や後援会の方から「頑張ってたね」という応援の言葉や、「お疲れさま」といった労いの言葉をいただけて、それがとても心に残っています。大変な仕事でしたが、やり遂げてよかったと感じました。



チーバくんが応援に来てくれました



沢山のメッセージをくださりありがとうございました！

★ 看護師として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 たくさんある病院の中から、どの病院の就職試験を受けるかを決めることが大変で迷いました。また、就職試験の時期が実習と重なり、平日は実習・週末は就職試験というスケジュールをこなすことが大変でした。
- 3 大変だと感じた時は一人で頑張らず、先生や友人等周りの人を頼ってほしいと思います。また、就職先を決める上で迷った時は、合同説明会等の機会をぜひ活用してください。私は実際に企業が行っている合同説明会に参加し、今の就職先に出会いました。
- 4 親身になって話を聞いてくれる先生や温かく見守ってくれる先生がたくさんいることです。サポートして下さる環境が整っていることはとても心強いことだと思います。また、看護学科の全員が看護師と保健師の国家資格を取得できることもやはり強みだと思います。自分の人生の選択肢が増えるというのは心の余裕に繋がります。

★ 管理栄養士として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 就職活動で一番苦労したことは面接です。自分の想いや強みを具体的な言葉でまとめることに時間を要しました。また、それらを短い時間で伝えることがとても難しいと感じました。
- 3 就職活動中は一人で考え込んでしまうことが多くなりました。そんな時は周りの人にたくさん頼ることが大切だと思います。先生方や友達、ジョブカフェ、先輩方などへ話すことで解決方法を見つけられ、視野が広がりました。日頃から周りの人と交流をして、時にはどんな進路に興味があるかを話してみると良いと思います。
- 4 少人数制で、みんなで一丸となって頑張ろうという雰囲気があるところです。実習や就職活動など、大変なことは多かったですが、仲間がいたから乗り越えられたと思います。また、他学科の学生とともに授業を受けることもあり、学生のうちから多職種連携を学ぶことができ、現場で活かされています。

★ 管理栄養士として就職

- 1 官公庁（県内）
- 2 授業や実習と並行して公務員試験対策の時間を確保することに苦労しました。授業の合間に図書館で勉強したり、帰宅途中にハローワークに寄って面接練習をするなど、空いている時間を有効活用するように努めました。
- 3 実習やインターンシップ、学会の聴講など、現場を知る機会があれば積極的に参加しましょう。実際に見て学ぶことで、やりたいことが見つかったり、変わったりするものです。学生のうちに多くの人やものに触れて、将来の視野を広げていくとよいと思います。
- 4 先生方や友人に相談しやすい環境であることです。就職先を最終決定する際にも多くの先生方や友人からアドバイスをいただいたことで、納得のいく決断ができました。また、先生方や友人とは卒業後もつながりがあり、仕事の相談に乗っていただいたり、情報共有をしたりして日々の業務に活かすことができている。

卒業生からの メッセージ

- 1 就職または進学先
- 2 就職または進学で苦労したこと
- 3 在校生へアドバイス
- 4 保医大でよかったこと

★ 保健師として就職

- 1 官公庁（県内）
- 2 一般教養科目の対策に苦労しました。大学の授業とは、大きく異なる内容のため、初め頃は戸惑いました。問題集を何回も解きなおしたり、過去問の解説動画を見たりして、対策を進めていました。
- 3 筆記試験にしろ面接試験にしろ、早いうちから着実に準備を進めておくことをお勧めします。公務員試験は5～9月にシーズンを迎えますが、実習や卒業論文と並行して進めるのはとても大変でした。また、面接試験は、採用試験のなかでも大きなウェイトを占めます。日頃から自己分析をしたり、志望先の健康増進計画を読み込んだりするなどの準備をすることをお勧めします。
- 4 先生方との距離が近く、就職について気軽に相談できたことです。また、就職試験に関する資料やセミナーも充実しており、就職活動を進める上での励みとなりました。

★ 助産師として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 就活を始めようと考えていた時期が助産選考の時期と重なり、自分の進路がわからないまま就職活動を始め、助産過程を行いながらの就職活動が大変でした。
- 3 学生時代、大変なこともありますが、学生の頃の努力が社会人になってから活きていると感じています。助産課程は人数も少なく、カリキュラムも他の方と異なり、就活や国家試験にかける時間が短いため、先生や友達、ハローワークなどをうまく利用するとよいと思います。また、同じ助産課程の仲間と情報共有をすることで乗り越えられると思います。
- 4 困っている時や悩んでいるときに親身になって相談にのってくれる先生がいたことや、励ましあいながら乗り越えられた貴重な友人ができたことが良かったと思います。また、多職種連携の授業やサークルなどで多職種と関わったことも、多職種の視点を得ることができ良かったと思います。

令和4年度に卒業された、看護学科、栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科（理学療法専攻・作業療法専攻）の方々に在籍生の皆さんに向けて、就職や進学、大学の事などについて、アドバイスやメッセージを頂きました。

★ 理学療法士として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 就職試験でPowerPointを作成しての自己PRが大変でした。先生方のお力添えを頂いて、なんとか完成させることができました。
- 3 評価から理学療法計画の立案までの流れについて、症例を挙げながら勉強すると理解しやすかったです。評価のどこを問題点として取り上げて、どのように展開していくかを就職前に身につけておくと、働きやすいと思います。実際臨床に出てみると、主疾患に加えて既往疾患を持つ方が多くて困ったので、まずはたくさん症例を知ることが大事だなと思いました。働き始めるとまとまった時間がとれないので、旅行はたくさん行って、たくさん遊んでおいてください！
- 4 学科の人数が少ないので、横の繋がりが密だと思います。他の病院で働く友達と情報交換ができますし、大学時代の思い出ができる友達は大事だと働き始めて感じます。卒業してからも先生と連絡を取ったり、図書館を利用できたりと卒業した学生にも優しいので、保健医療大学に入学して良かったです。

★ 歯科衛生士として就職

- 1 官公庁（県外）
- 2 就職活動で一番苦労したことは試験対策です。行政への就職では公務員試験がありますが、一概に公務員試験といってもその内容は様々です。加えて、その他にも面接、小論文、ウェブテストなど自治体によってその他の試験の内容も異なります。実習や卒研をやりながらの対策は大変なので、過去の試験情報を調べておくことで早めに対策できるのでおすすめです。
- 3 例え周りの就職先が決まり始めても、焦って決めないでください。私自身、内定は学科内で最後の方だったので焦りましたが、今では最後まで頑張って良かったと思っています。後悔しないように自分のやりたいことをしっかり持って、進路を決めて欲しいなと思います。
- 4 少人数クラスなこともあり、みんなと距離が近く、お互いに助け合える関係が作れたこと、とても親身になってくださる先生方と出会えたことです。就職した今でも何かあった時に頼れる友人や先輩、先生方の存在はとても心強いです。

★ 作業療法士として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 就職活動と卒論、国試勉強を同時に進めていかなければならなかったことです。人によって就職活動の進め方や時期が異なると思いますので、先生方に相談したり、ハローワークをうまく利用しながら、焦らず進めていくことが大事だと思います。また、私はどの分野に進みたいのか定まっていなかった為、それぞれの分野の先生方にアドバイスをいただきながら就職先を決めました。
- 3 就職活動が始まる前までの間に、興味のあるイベントやボランティア活動などには積極的に参加しておくと思いいます。様々な経験をすることで、将来自分がどうなりたいたのかイメージしやすくなると思うからです。
- 4 先生方と生徒の距離が近いことです。些細なことでも親身になって話を聞いてくださるので、就職活動や国試勉強で悩んだ時に非常に心強かったです。また、生徒同士がお互いに助け合いながら一つの目標に向かっていく、連帯感が強い所も保医大の良い所だと思います。

★ 大学院へ進学

- 1 国立大学（県外）
- 2 大学院に進学予定であれば、進学を考えている研究室で自分の行いたい研究ができるかどうかを事前に調べ、研究室に訪問しておく必要があります。この先生の研究室で学びたいといった強い希望があれば進学先は決まりやすいかと思いますが、自分の研究に合致した研究室を探すにあたって少し苦労するかもしれません。
- 3 大学院では、英語を使用する機会が増えます。優先して英語を学んでおく必要はないと思いますが、国家試験勉強の合間に興味のあるテーマの英語論文を読んでみるなど少し練習しておくといいと思います。
- 4 保医大のレベルはとても高いです。保医大で学んだことを活かすことができれば、進学先でも活躍できると思います。授業は大変だと思いますが、保医大の先生方や友人からたくさん吸収してください。そして、同じ志を持った仲間をたくさん作って切磋琢磨してください。

★ 作業療法士として就職

- 1 病院等（県内）
- 2 卒業研究・論文作成と就職活動の時期が重なったことです。就職の試験日程と論文作成のラストスパートの時期が被り、苦労しました。しかし、先生方が親身に寄り添ってくださり、すごく心強かったです。また、同時期に行っていた国試勉強も数人のグループで行っていたので、支え合って乗り越えることができました。
- 3 オンとオフの切り替えと、周りの人に頼ることだと思います。希望する国家資格取得に向けて、単位取得や試験勉強、臨床実習や国家試験などを乗り越えなければなりません。私が大学生生活4年間で感じたのは、学校とプライベートなどメリハリをつけて生活すること、周りの人を頼り、思いやりを持って支え合うことだと思います。
- 4 先生方や同期をはじめ、皆さんの人柄が温かいことだと思います。臨床実習や国家試験勉強で忙しかつたけれども、私は仁戸名キャンパスを第二の実家だと思うくらい、安心できるととても楽しい時間を過ごすことができました。大学4年間、周りの皆さんのおかげで充実した日々を送ることができました。1人では決して乗り越えることができなかったと思っています。

★ 理学療法士として就職

- 1 病院等（県外）
- 2 小児領域という就職先が限られている中で行う就職活動は、事前の情報収集が大きな壁であったように思います。大学の先生方や先輩方、実習先の先生等から病院の情報等を少しずつ聞いておくことで少し余裕ができるかなと思います。また、友達の就職先が決まってく中で自分の進路が定まらない時はとても不安でした。最後の最後まで求人情報は更新されますので、もし明確に就職したい領域や施設を志している方がいましたら、焦らずに自分の目標を貫いてほしいなと思います。
- 3 大学生のうちにしっかりと勉強をすることも大切ですが、遊びやアルバイトなどのプライベートもすべてが就職後の糧となるのだと実感しています。就職活動や国家試験、入職後についてなど様々な不安があると思いますが、勉強もプライベートも今自分がやりたいことに心残りなくチャレンジすることが一番大切なことだと思います。
- 4 学科に捉われない縦と横のつながり、先生との距離が近かったことが本当に強みであったなと思います。わからないことや不安なことを周囲に相談することが出来る環境が整っていると思いますので、沢山の方の力を借りながら楽しい事も大変な事も乗り越えていってほしいです。

保医大公開講座に参加してみました

★「人生100年時代を元気で乗り切るために」をメインテーマに、令和5年10月8日（日）、「いずみ祭」と同時進行で、大講義室において2講座が開かれました。

①「よい眠りを誘って健康寿命を延ばそう！」

看護学科 准教授 田口 智恵美

睡眠が健康に及ぼす影響は大きく、睡眠不足が原因となって、心筋梗塞や脳卒中、うつやアルツハイマー型認知症につながる可能性も指摘されています。そこで、私たちの生活の中で、整えるべき生活のリズムと環境、また就寝儀式をとりいれるという提案をいただきました。

②「脳から考える心と身体健康」

栄養学科 教授 加瀬 政彦

高齢になるに従って、新しいことにチャレンジしたりするのがおっくうになりがちですが、こころの健康を保つために、「脳を活性化する」ということについてのお話をいただきました。お話の中で、私たちの脳も、筋肉と同じように今の自分にとって少し負荷のかかることをあえて試みることで成長や活性化につながるということが印象に残りました。

★令和5年10月22日（日）には、オンライン（zoom）にて、さらに2講座が開かれました。

③「“呼吸”のリハビリ ～からだを動かして健康増進～」

リハビリテーション学科 理学療法学専攻 講師 稲垣 武

COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気について、私は今回詳しいことを初めて知りました。治療はもちろんのこと、自律的な管理も大切とのことで、先生に模範を示していただきながら、呼吸リハビリテーションや呼吸筋ストレッチを体験させていただきました。

④「健康寿命の延伸はお口の健康から 一口腔機能の衰えを予防しましょう」

歯科衛生学科 准教授 佐々木 みづほ

お口の健康と全身の健康には深い相関関係があり、全身のプレフレイル（前虚弱）の前段階としてオーラルフレイルが発現するというのは衝撃的なお話でした。



龍野一郎学長挨拶

10月8日のキャンパス開催講座には101名の参加、22日のオンライン開催講座には46名の参加がありました。どの講座も、すぐに生活に取り入れることのできる実践的な考え方や運動を紹介していただき、とても参考になりました。テーマとしてはシニア向けかとも思いましたが、熱心な高校生や在学生の参加も見受けられました。保護者として、子どもが教をいただいている先生方の研究の一端に触れることのできる貴重な体験を得ました。みなさんも、ぜひ一度参加されてみてはいかがでしょうか？

（理事 鳥居世津子）



後援会からのお知らせ

先日は後援会活動へのアンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

結果につきましては、今後の活動に活用させていただきます。

来年度以降、後援会広報誌「いずみ」及び後援会HPの運営について見直しを検討しております。

これからも変わらぬ御支援をたまわりますようお願いいたします。

進路一覽

主な就職先

看護学科

病院等 千葉県がんセンター・救急医療センター、千葉市立海浜病院・青葉病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター、東京歯科大学市川総合病院、千葉大学医学部付属病院、東京医科歯科大学病院、虎の門病院、廣徳義塾大学病院など

官公庁 千葉県、千葉市、船橋市、柏市、東京都、東京都特別区など

進学先 新潟大学看護教諭特別科

栄養学科

病院等 千葉県立病院、千葉大学医学部付属病院、(独)国立病院機構、(独)地域医療機能推進機構(JCHO)、千葉市立病院、君津中央病院、亀田総合病院など

官公庁 千葉県、千葉市、船橋市、柏市、木更津市、東京都など

※学校栄養士、栄養教諭を含む

施設・企業・その他 マルハニチロ(株)、(株)ギンビス、昭和産業(株)、(株)グリーンハウス、(株)千葉薬品、特別養護老人ホーム、保育所など

進学先 京都大学大学院、静岡県立大学大学院など

歯科衛生学科

病院等 県内外歯科診療所、済生会習志野病院、聖隷佐倉市民病院、船橋中央病院、セコマメディック病院、亀田総合病院、松戸市立総合医療センター、千葉メディカルセンター、日赤芳賀病院、昭和大学病院、佐久市立病院、富山市民病院、東海大学病院など

官公庁 千葉市、東金市、山武市、鎌ヶ谷市、習志野市、石巻市、足立区、東京都など

施設・企業・その他 株式会社モリタ、株式会社ヨシダ、株式会社ジージー、千葉県歯科医師会など

進学先 東京医科歯科大学大学院、徳島大学大学院、東北大学大学院

リハビリテーション学科理学療法専攻

病院等 千葉県千葉リハビリテーションセンター、千葉大学医学部付属病院、東京歯科大学市川総合病院、船橋総合病院、千葉メディカルセンター、千葉西総合病院、東京湾岸リハビリテーション病院、君津中央病院、亀田総合病院、船橋整形外科病院、国保旭中央病院、新八千代病院、松戸整形外科病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、日本医科大学千葉北総病院など

進学先 廣徳義塾大学大学院、長崎大学大学院、埼玉県立大学大学院など

リハビリテーション学科作業療法専攻

病院等 千葉県千葉リハビリテーションセンター、千葉大学医学部付属病院、千葉県ろうさい病院、旭中央病院、船橋市立リハビリテーション病院、東京湾岸リハビリテーション病院、東葛病院、亀田メディカルセンター、行徳総合病院、袖ヶ浦さつき台病院、イムス佐原リハビリテーション病院、おゆみの中央病院、柏メンタルクリニック、ジェイコー千葉病院、石巻同病院、木村病院など

官公庁 浦安市こども発達センターなど

施設・企業・その他 有限会社総合リハビリ研究所など

進学先 東京都立大学大学院など

国家試験実施日及び合格発表日

試験名	試験日	合格発表日
第110回保健師国家試験	令和6年2月9日(金)	令和6年3月22日(金)
第107回助産師国家試験	令和6年2月8日(木)	令和6年3月22日(金)
第113回看護師国家試験	令和6年2月11日(日)	令和6年3月22日(金)
第38回管理栄養士国家試験	令和6年3月3日(日)	令和6年3月29日(金)
第33回歯科衛生士国家試験	令和6年3月3日(日)	令和6年3月26日(火)
第59回理学療法士国家試験	筆記試験 令和6年2月18日(日)	令和6年3月21日(木)
	*口述試験及び実技試験 令和6年2月19日(月)	
第59回作業療法士国家試験	筆記試験 令和6年2月18日(日)	令和6年3月21日(木)
	*口述試験及び実技試験 令和6年2月19日(月)	

*重度視覚障害者

国家試験合格率

令和4年度

学 科	職 種	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率(%)	
				本学	全国
看護学科	保健師	83	77	92.8%	96.8%
看護学科	助産師	6	6	100%	95.9%
看護学科	看護師	81	80	98.8%	95.5%
栄養学科	管理栄養士	25	23	92.0%	87.2%
歯科衛生学科	歯科衛生士	21	20	95.2%	93.0%※
リハビリテーション学科	理学療法士	28	28	100%	94.9%
リハビリテーション学科	作業療法士	25	24	96.0%	91.3%

※歯科衛生士の全国合格率は既卒者を含む。

就職進学状況

令和4年度

区 分	卒業生 (a+c)	就職 希望者 (a)	就職者		就職率 (b/a)	進学・その他			就職 活動中
	(a+c)	(a)	(県内)	(県外)	(b/a)	進学	その他	その他の 合計(c)	
看護学科	83	82	61	20	81	99%	0	1	1
栄養学科	25	25	9	16	25	100%	0	0	0
歯科衛生学科	21	18	9	9	18	100%	1	2	3
理学療法専攻	28	28	27	1	28	100%	0	0	0
作業療法専攻	25	25	16	9	25	100%	0	0	0
合 計	182	178	122	55	177	99%	1	3	4

分野別就職状況

令和4年度

学科・専攻	病院等	官公庁	施設等 (保育所・学校・療養所)	一般企業	その他	合計
看護学科	64	17	0	0	0	81
(県内)	(48)	(13)	(0)	(0)	(0)	(61)
(県外)	(16)	(4)	(0)	(0)	(0)	(20)
栄養学科	8	3	3	10	1	25
(県内)	(5)	(2)	(0)	(2)	(0)	(9)
(県外)	(3)	(1)	(3)	(8)	(1)	(16)
歯科衛生学科	17	1	0	0	0	18
(県内)	(9)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)
(県外)	(8)	(1)	(0)	(0)	(0)	(9)
リハビリテーション学科 理学療法専攻	27	0	1	0	0	28
(県内)	(27)	(0)	(0)	(0)	(0)	(27)
(県外)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)
リハビリテーション学科 作業療法専攻	22	0	3	0	0	25
(県内)	(15)	(0)	(1)	(0)	(0)	(16)
(県外)	(7)	(0)	(2)	(0)	(0)	(9)
合 計	138	21	7	10	1	177

令和5年度事業報告

会員の皆様には、日頃より後援会活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。今年になって、ようやく新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5類感染症に移行し、対面での活動ができるようになりました。ここに今年度の事業内容について報告いたします。

まず、教育支援として、TOEIC・TOEFLの受験料や国家試験模試、就職対策講座等の補助を行いました。また、2年生以上の学生さんのご希望を確認のうえ、成績通知書を後援会の費用負担で大学事務局よりみなさまへの送付を行いました。

次に施設事業については、防災備蓄品の入れ替えを行い、下記のようになっております。災害時には後援会で用意した防災備蓄品を皆さんのために役立てていただきたいと思います。なお、幕張キャンパスには所管する自治体の防災備蓄品もあるため、衛生用品に限定することとなりました。

幕張キャンパス：事務棟2階教養室

除菌ウェットティッシュ、生理用品、使い捨てビニール手袋、災害用トイレセット、レスキュー防寒シート

仁戸名キャンパス：学生ホール

保存水、アルファ米、除菌ウェットティッシュ、生理用品、使い捨てビニール手袋、災害用トイレセット、レスキュー防寒シート

さらに、大学敷地外の通学路となっている公有地に後援会で設置した仁戸名キャンパス外灯4箇所分の電気代

も負担しています。

学生会活動支援としては、学生会活動のための予算の全額を後援会で支え、学生会主催の行事やサークル活動などに活用されています。特に昨年、規模を縮小して開催した「いずみ祭」は、いずみ祭実行委員会のみなさんの尽力により今年は盛大に開催されました。後援会もPRも兼ねて参加し、非常にたくさんの方がメッセージの記入やくじ引きをされ、たいへん盛況なものとなりました。さらに、毎年いずみ祭へ参加しているチーバくんも非常に好評で、いずみ祭を盛り上げるのに一役買っていただきました。

年度末には卒業式が開催されます。卒業生全員に卒業証書を挟む証書ファイルと記念品（ペン型の3機能ネーム印）を進呈できるように準備を進めています。

最後に、後援会の入会率の低下が継続した影響で、いよいよ後援会の予算規模縮小が現実のものとなりつつあります。実はこの原稿は11月下旬に書いていますが、来年度予算の検討がこれから本格的になっていきます。今までは学生のみなさんの学生生活がより充実したものとなるように、という思いで理事を努めてきましたが、今後は様々な葛藤や苦渋の選択があり、その結果として一部の学生に手が届かなくなってしまうという事態が起こることになりそうです。会員のみなさまにおかれましても、後援会のホームページ等よりぜひご意見をお寄せいただければと思います。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

（理事 峯島光年）

卒業記念品

平成25年3月の保医大第1期生から、後援会より卒業記念品としてスクールカラーの水色の学位記・卒業証書入れと「訂正印付き3機能ネーム印」を贈呈しております。ネーム印面は、卒業生の皆さんが後から注文し、はめ込むタイプのものです。同梱されている申し込みはがきに、必要事項を記入して投函して頂くと、後日、印面が郵送されます。なお、申し込みの締め切りはありませんので、はがきの有効期間が切れてしまった場合は、切手を貼って投函してください。



《新入学生の保護者の方へ～ 後援会入会のお願い》



保医大後援会は、会員の皆様から後援会費をお預かりし、学生のキャンパスライフをサポートするために活動しています。その内容は、サークルやいずみ祭、新入生歓迎会等の学生会活動、就職に係わる講習会や国家試験模擬試験、TOEICやTOEFL受験の補助、学生生活が円滑に進むような設備補助等、多岐にわたっています。

何卒ご理解の上、後援会に入会の程よろしくお願いいたします。なお、後援会費は、4年間分（編入生は2年間分）1回だけの納入となります。詳しくは、同封しました案内をご覧ください。また、後援会広報誌「いずみ」は、今後入会された方へのみ年2回（夏号7月頃、冬号2月頃）お送りする予定です。

後援会活動へのご意見・ご感想はこちらまで mail@hoidai-kouenkai.com